



2020年8月26日

各位

興和株式会社

緑内障・高眼圧症治療剤「K-115」の タイにおける承認取得のお知らせ

興和株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長 三輪 芳弘、以下「興和」）は、世界に先駆けて日本で販売している緑内障・高眼圧症治療剤「グラナテック®点眼液 0.4%」（開発コード：K-115、一般名：リパスジル塩酸塩水和物、以下「本剤」）につきまして、2020年8月13日付で、タイにおいて開放隅角緑内障・高眼圧症を適応症として承認を取得しましたのでお知らせいたします。

本剤は世界戦略品として位置づける世界初の Rho キナーゼ阻害剤で、2014年12月より日本で先行販売しています。タイにおいては昨年、タイ王国保健省食品医薬品庁（タイ FDA）に申請を行い、このたび世界で5カ国目となる承認取得に至りました。タイでの販売体制につきましては、現地法人 Kowa (Thailand) Co., Ltd.による自社販売を予定しています。興和はタイの患者さんに新たな治療選択肢を提供することで、緑内障・高眼圧症治療において重要な眼圧下降に寄与できるよう注力するとともに、今後、東アジア・東南アジア地域をはじめとした、さまざまな地域の患者さんへ本剤を提供できるよう、努めてまいります。


興和は、感覚器領域（眼疾患）を重点領域のひとつと定め、医療用医薬品ではリパスジル塩酸塩水和物を用いた緑内障・高眼圧症治療剤の製品拡充およびフックス角膜内皮障害変性症治療剤の開発を進めています。また、医療機器では白内障治療における眼内レンズ（「アバンシィ™」シリーズ）、国際的にも高い評価を受ける眼底カメラを始めとした眼科医療機器などのグローバル展開を積極的に推進し、未だ満たされていない医療ニーズにお応えしていく所存です。

■グラナテック®点眼液 0.4%について

本剤は、Rho キナーゼを阻害することにより、線維柱帯-シュレム管を介する主流出路からの房水流出を促進することで眼圧を下降させます。

日本国内で実施した原発開放隅角緑内障および高眼圧症の患者さんを対象とした臨床試験において、本剤は、単独での使用および既存の緑内障・高眼圧症治療剤と併用での使用のいずれの場合でも、眼圧下降効果を示すことが確認されています。

以上

 興和株式会社	広報部（東京）	東京都中央区日本橋本町 3-4-14 TEL : 03-3279-7392
	本店（名古屋）	名古屋市中区錦 3-6-29